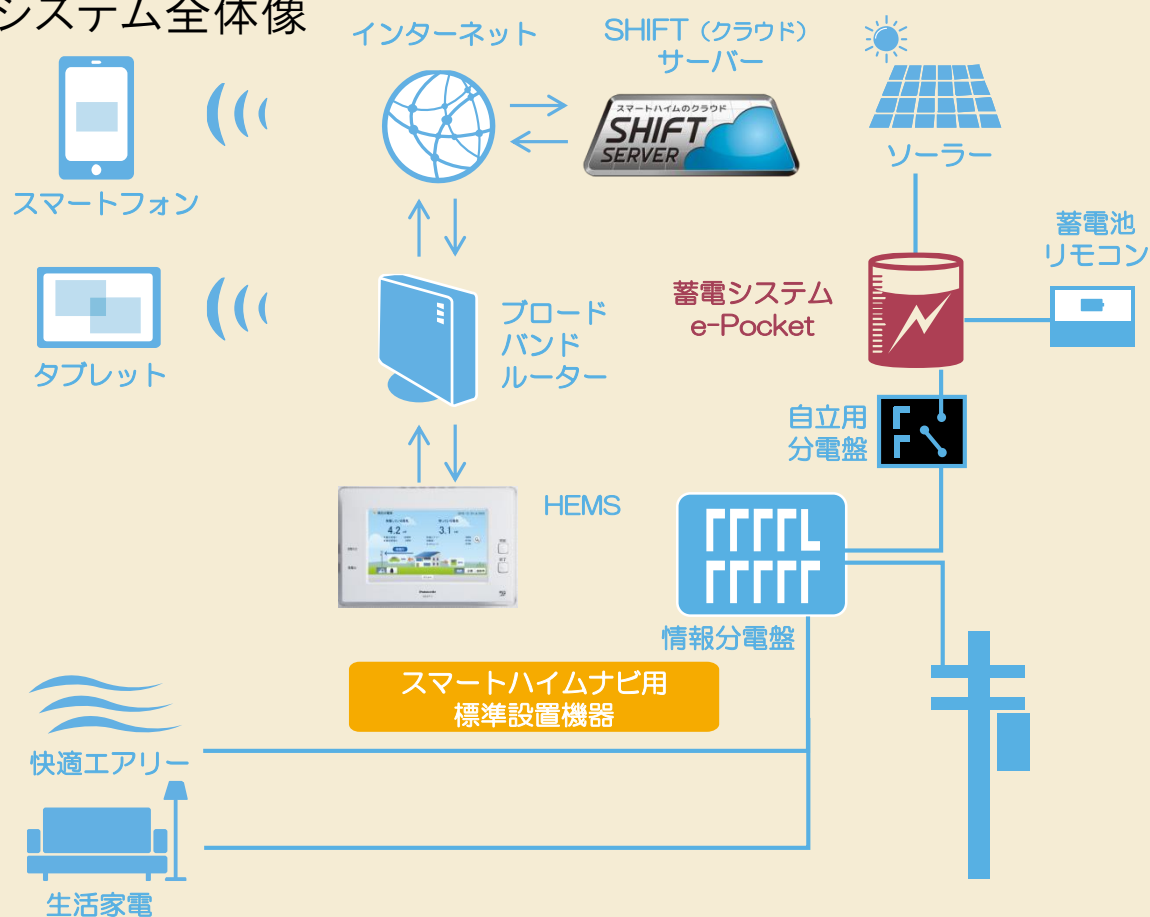




蓄電システム e-Pocket 設定・操作ガイド①

ニチコン製 8kWh (トライブリッド) 家一部仕様

■システム全体像



室内リモコン画面の説明



- 電源ランプ**
- 充電/放電ランプ**
運転状況を、運転ランプの色で示します

緑	充電/放電
消灯	待機(充放電していない状態)
- 太陽光発電ランプ**
太陽光発電中に点灯します
- 自立運転ランプ**
自立運転中に点灯します
- 点検ランプ**
点検コード発生中に点滅します
詳しくは取り扱い説明書P43をご覧ください

タッチパネル画面の説明

室内リモコンの画面にタッチしてさまざまな操作を行います。



- 各種設定、グラフに関する設定**
(売買電電力を表示しています)
- 太陽光の設定**
(太陽光発電の状態を表示しています)
- 蓄電池の設定**
(蓄電池の残量、充放電電力を表示しています)

※リモコン画面は、太陽光発電、蓄電池ユニットが接続されている場合を示します。

■蓄電池本体



停電時の使い方

- 停電時は、蓄電池から非常時兼用スイッチや非常時兼用コンセントへ、自動で放電します。復電時も、自動で通常の運転に戻ります。

※停電発生時には一時的に停電(無通電)状態になり、その後に蓄電池供給へ自動で切り替わります。

蓄電池からの電力で、非常時兼用スイッチや非常時兼用コンセントに接続した電化製品を使用することができます。同時に使用できる電力は約1,500Wです(日中発電時は最大で約2,500W)。

家電製品の消費電力量の目安(W/台) 計425W			
テレビ:150W	冷蔵庫:70W	電話機:5W	パソコン:150W
LED照明(3灯):30W		ルーター・TVブースター等:20W	

※消費電力量は目安であり機種および動作状態により異なります

- 停電時は、太陽光発電の電力を、非常時兼用スイッチや非常時兼用コンセントで、自動的に使えます。

自立運転モードに切り替わると、太陽光が発電しているときは、自動で太陽光発電からの電力を充電したり、使用することができます。



非常時兼用スイッチ 非常時兼用コンセント

●写真と形状が異なる場合があります。

もしもの停電に備えた設定 『非常時安心設定』

- 台風、計画停電などの停電にあらかじめ備えるとき

もしもの停電に備え、『非常時安心設定』を切替えることで、安心してお使い頂けます。 ※停電にあらかじめ備えるときは、前日までに切替えてください。 ※設定した割合により使える電力は異なります。

『非常時安心設定』とは 停電がおきても、蓄電池から電気が使えるよう、設定した割合で充電の残量を常に残しておく設定です。(設定範囲: OFF(0%)、30%、40%、50%、60%、70%)

- 『非常時安心設定』を設定して頂くと、停電がおきても、照明、冷蔵庫、テレビ、携帯電話などが使える電力を残します。

【設定時の動作】 充電残量が設定値以上の場合: 残量が設定値になるまで放電後、停電に備えて放電停止します。
充電残量が設定値未満の場合: 停電後に備えて放電を停止し、設定値以上に充電されると放電開始します。

- 普段の使い方 蓄電池は、充電した電気をできる限り多く使うことで、電気代の節約ができます。

どんなとき	非常時安心設定	※蓄電池の劣化(標準容量保証10年・50%)を見込んでいます ※実際の使用環境・機器等によって、電力の使用可能時間が異なります。
台風、計画停電などの停電に、あらかじめ備えるとき	40% 一晩の停電でも、必要最低限の不安を解消できます。	<使える家電の目安> (同時使用可能) LED照明 (3灯30W) 5時間 [150Wh] 冷蔵庫 (70W) 15時間 [1050Wh] テレビ (150W) 1時間 [150Wh] ルーター・TVブースター等 (10W) 15時間 [150Wh] 携帯電話 (2台10W) 1時間 [10Wh]
	70% 一晩の停電でも簡単な温かい食事ができ、安全・安心で、不安も軽減できます。	LED照明 (3灯30W) 6時間 [180Wh] 冷蔵庫 (70W) 15時間 [1050Wh] テレビ (150W) 4.5時間 [675Wh] ルーター・TVブースター等 (10W) 15時間 [150Wh] 携帯電話 (2台10W) 2時間 [20Wh]
普段	OFF (0%) 30%	環境にやさしい太陽光発電の電力(グリーンモードの場合)や、深夜に充電した料金の安い電力(経済モードの場合)を、できる限り多く使います。

ご注意ください

停電が終わりましたら、必ず、普段の設定(OFF又は30%)に戻してください。

知っておいてください

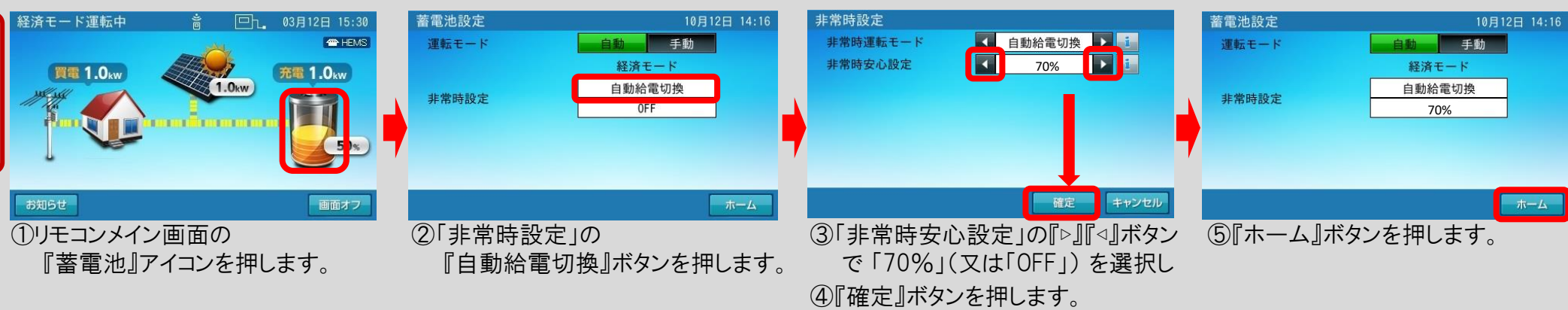
停電中に充電残量がなくなっても、翌日に太陽光が発電すれば充電できます。

ご注意ください

停電時に充電残量がない場合、翌日の太陽光が発電するまで、停電中は電気は使えません。

『非常時安心設定』を「70%」又は「OFF」に変更する方法

※リモコン画面は、太陽光発電、蓄電池ユニットが接続されている場合を示します。





蓄電システム e-Pocket 設定・操作ガイド②

ニチコン製 8kWh (トライブリッド) 家一部仕様

運転モードの種類と充放電時間

お好みの運転モードを設定することができます。

通常の運転では、下記のどちらかのモードを選びます。

経済性を重視したエコノミー設定
経済モード

割安な深夜電力を充電。
朝～夕の電力使用量が多い時間に
放電することで電気料金を節約。

太陽光発電の電力は家庭内で使用し、
余剰分を電力会社に売電します。
売電中は蓄電池は放電せず、使用電力が
太陽光発電電力より多いときに放電します。

環境を重視したエコロジー設定
グリーンモード

おもに太陽光発電の電力で充電。
その電力を使うことで
環境にやさしい暮らしを実現。

太陽光発電の電力は家庭内で使用し、
余剰分を蓄電池に充電します。
その昼間に貯めた電力をおもに夕・夜に使用
します。

経済モード・グリーンモードの充放電時間を調整することができます。

	充電時間※1 (電力会社電力の充電)	放電時間※1 (蓄電池の放電、太陽光発電の充電)
経済モード	契約電力プランの深夜時間※2	充電時間以外
グリーンモード	最低限の時間(1分間) (例:23:05-23:06)	充電時間以外

※1: グリーンモードの充電時間では買電による充電が行われます。昼間の太陽光発電の余剰分による充電は、放電時間の間に行われますので、深夜などに買電で充電する時間帯以外は放電時間に設定してください。

※2: 各電力プランの深夜電力時間は、各電力会社のHPよりご確認ください。

なお、ご自宅の契約電力プランは電力会社の請求書「電気ご使用量のお知らせ」に記載がございます。

運転モードと充放電時間の変更方法

初期設定は **経済モード** です。 **グリーンモード** を選ぶ場合は、下記の操作が必要です。

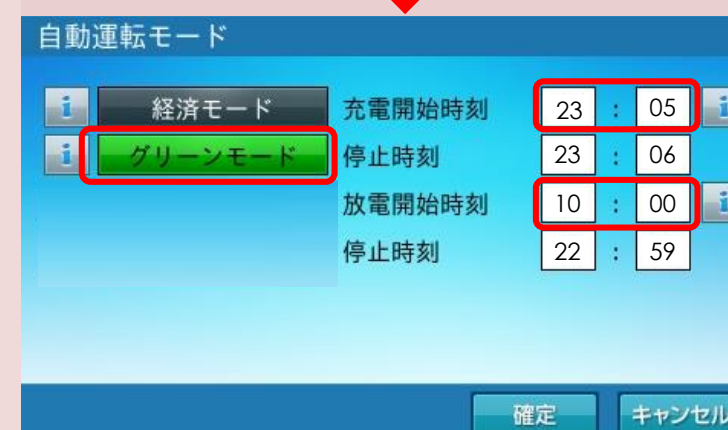
●「グリーンモード」の設定方法 ※ 変更方法は 経済モード・グリーンモード共通です。



①リモコンメイン画面の
『蓄電池』アイコンを押します。



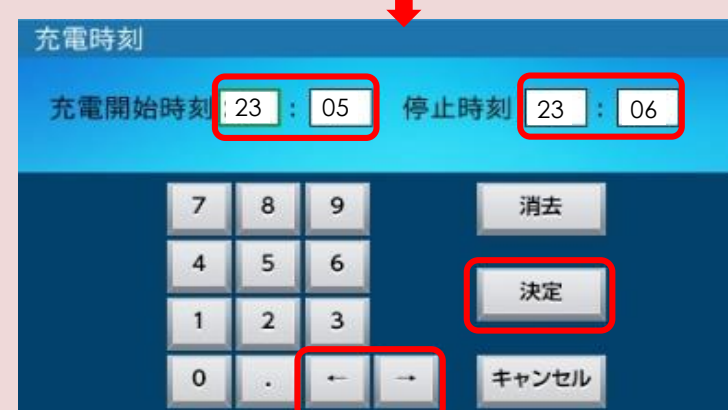
②運転モード「自動」を押します。



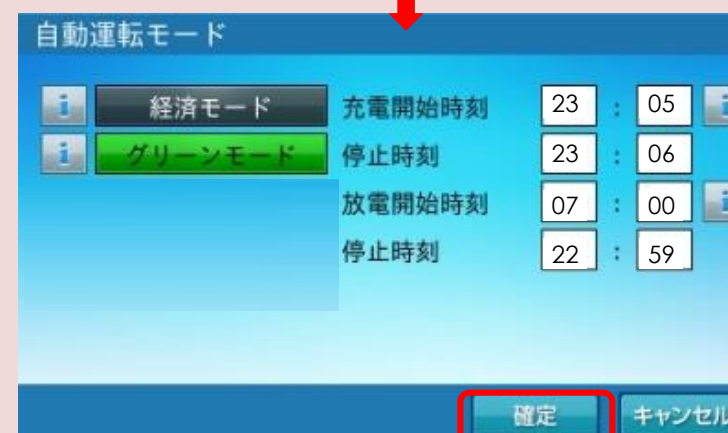
③運転モードがグリーンモードに
なっていることを確認(緑になります)

④時刻部分(充電開始・放電開始)を押します。

※充放電の運転時間は、初期設定で、
経済モードでのご使用に適した設定になっています。
グリーンモードでのご使用に合わせた時間設定に変更してください。



⑤それぞれの時刻を
下部のテンキーで入力します。
→、←ボタンを押すとカーソルが移動します。
上記時間に設定し、決定を押します。



⑥確定ボタンを押します。

⑦確認画面になりますので
「はい」を押してください。